

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成30年9月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である。	○			
	②	職員の配置数は適切である。		○		資格のある職員の増員や専門職の配置。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。		○	部屋の機能を視覚的に分かりやすく掲示している。	建物の構造的に車いす等で利用しにくくなっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		毎日活動終了後に清掃をしている。空調などにも留意している。	
業務改善	⑤	業務改善をすすめるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している。	○		毎月の目標を掲げ職員会議で振り返りを行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		毎年実施し、意向の把握と業務の改善に努めている。	アンケート回収率の増。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。		○		昨年は放課後等デイサービス事業のみ公表した。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		外部評価は実施していない。今後検討。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		職場内外の研修に参加し、支援の質の向上に努めている。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		家族の了解を得て関係機関と連携し多角的なアセスメントに努めている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○		質問紙法も含めて心理検査を実施している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。		○		法人内で統一された様式を使用している。ガイドラインを踏まえた様式への変更を検討。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		一人一人の支援計画を確認しやすいようなファイリングをしている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		週1回支援会議を実施している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	○		活動計画と振り返りの記録をもとに様々な活動を取り入れるように留意している。	子どもの成長に合わせて同じプログラムでも内容を発展させていけるように工夫を行う。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	○		小集団での活動に加え年齢や状況に応じ定期的に個別活動を実施している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○		事業所全体で活動プログラム等の共有を行ってから各事業ごとに役割分担等を含めた打ち合わせを実施している。	長期休暇中の打ち合わせ時間の確保
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している。	○		各事業ごとに実施し、記録をつけている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○		個々のケース記録、プログラムの実施状況等記録を残している。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	○		6か月に一回以上保護者と一緒にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		主に児発管が出席している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	○		担当保健師や幼稚園、保育園の担当者と連携し支援を行っている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。				今のところ、環境が整わず医療的ケア児の受け入れができない状況。今後体制の整備が必要。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。				
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。		○		支援内容について幼稚園、保育園等との情報共有を実施しているが、移行支援の該当ケースがない。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。		○		移行支援に該当するケースは今年度が初めてであるため、今後卒園に向けて必要な連携を行ってきたい。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○		県内の連合会に加盟するなどし、研修に参加するなどしている。	
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。		○		施設開放等を実施し、交流の機会を作っていく。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加している。		○		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○		お迎え時や個別時に利用中の様子を中心に共通理解を図る時間を設けている。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に「対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている。	○		保護者研修会で概論の研修実施。	継続実施に向けた企画。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	<input type="radio"/>		初回契約時、更新時に実施。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。		<input type="radio"/>		ガイドラインを示しながらの計画の説明を実施する。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	<input type="radio"/>		半年に1回以上面接を実施。また、適宜心理士等による発達相談を実施。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。		<input type="radio"/>		研修会、懇談会を定期的実施しているが、組織化には至っていない。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応している。		<input type="radio"/>		苦情受付窓口の周知のみに留まっている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	<input type="radio"/>		「おひさま通信」を発行し、情報の共有に努めている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している。	<input type="radio"/>		ケースファイルは鍵のかかる書庫に保管。名前や写真については保護者の意向を確認してから表示している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	<input type="radio"/>		視覚的に提示するなど個々の特性に応じて方法を検討している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	<input type="radio"/>		施設開放日を設ける予定。	
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。		<input type="radio"/>	マニュアルを整備しきれていない。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	○		避難訓練を定期的実施している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	○		利用契約時、または契約更新時の面接時に確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。				該当ケースなし
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。		○		報告書として提出しているが事例集としてまとめることができていない。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○		定期的に内部研修を実施している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	○		保護者に説明し了解を得て、個別支援計画に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。